

# 北海道地域最低賃金1,075円に!

## 過去最大65円の引き上げ↑↑

### 目安額を上回る引き上げで結審!

北海道地方最低賃金審議会（以下、最賃審議会）は8月8日、2025年度の北海道最低賃金を現行の1,010円から65円引き上げ、1,075円とすることで結審しました。65円の引き上げは過去最大、本年10月4日発効予定。

本年度の審議は、2025春季生活闘争で昨年を上回る高い水準の賃上げだったことや、消費者物価指数が全国平均より上昇していること、さらには北海道の景況を示す指標が全国と比べ高い水準



物価高の生活に不安、時給1,250円の実現を

となつていて、地域間格差は正などを踏まえた公労使が、真摯に議論をした結果と受け止めます。また、目安額が例年より遅れた中で、早期発効にむけて審議が行われたことについて率直に評価するものです。

本年度、中央最低賃金審議会では、地域別最低賃金の改定目安額について、A・Bランクが63円、Cランクが64円と初めて下位ランクが上位ランクの金額を上回った中で、北海道でも本格的な金額審議が行われました。

最賃審議会では労働者側委員は、労働市場の募集平均時給が1,100円を上回っていることや、住居費を除く生活コストが首都圏と同であること、最低賃金近傍で働く者に大きく影響を与える食料品の物価が上昇していること、地域間格差の早期是正などを主張し、目安額以上での改定を求めました。今年の65円引き上げに

ついて労働者側委員は、「影響率が全国平均より高い傾向にあり、最低賃金改定による底上げが何より重要である北海道において、全労働者の4人に1人以上が賃金改善されること、加えて過去最大の目安額を上回る結審に至ったことは、地域間格差の是正に向けた第一歩である」と評価できる。」とした上で、「依然として全国加重平均との乖離があり、今後も継続的な地域間格差是正に重点を置いた審議が求められる。多くの未組織労働者は自身の賃金の引き上げには関与できず、最低賃金の金額がもたらす影響は大きい。」と改めて確認しました。

また「持続的な地域最賃の引き上げのために、パートナーシップ構築宣言および北海道政労使会議で採択された共同宣言の遵守と労務費を含めた適正な価格での取引や価格転嫁、環境整備についてより一層の前進を期待したい。」と意見しました。

#### 連合北海道札幌地区連合会ホームページ



労働相談ホットライン  
フリーダイヤル いこうよ れんごうに  
☎ 0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<https://rengo-sapporo.jp/>

札幌

れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくらビル2階  
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505

2025年9月5日 487号  
連合北海道札幌地区連合会



### 誰もが、サッポロ・スマイルに さっぽろ政策要求2026 始動!

札幌地区連合は7月28日(月)、第2回政策委員会を開催し、例年取り組みを進めている札幌市新年度予算に向けた政策要求原案の取りまとめを行いました。9分野・30項目・65要求からなる原案は、札幌の雇用政策や公契約、子ども・子育てや教育、福祉といった施策の推進など、「働くことを軸とする安心社会」の実現へ向け、施策への反映と実現を求めていくものとしています。



昨年の要請の様子

要求原案は、8月の執行委員会を確認ののち、構成組織や区連合を対象にした「意見アンケート」を実施し、要求内容の豊富化を進め、第3回政策委員会での議論を踏まえ、9月の執行委員会で作案とし、札幌市への要請行動を進めるべくその取り組みを進めます。

#### 働き手不足への課題は 急務

市内の働き手確保の課題が様々な業種に顕著に表れてきており、市内の経済活動や公共サービスの提供などにも影響が及んでいます。要求原案では、人材確保に関連した要求7項目を集中し、「いま取り組みべき、働く者・生活者の要求」として重点要求事項として



その解決を求めることとしています。

#### 連合北海道「要求と提言」 北海道へ要請実施

連合北海道は8月21日に、良質な雇用創出、地域産業の振興及び観光の推進、地域公共交通の確保、エネルギー・環境政策といった177項目に及ぶ要請項目からなる「2026年度道政に対する要求と提言」を提出。経済政策はもとより、労働者政策についても知事のリーダーシップのもと、要求前進へ道としての尽力を求めました。

#### 北海道産ワインテイスティング講座で交流 札幌地区連合女性委員会レクを開催

8月2日(土) 札幌地区連合女性委員会は夏のレクとして、北海道大学ワイン教育研究センターにて「北海道産ワインテイスティング講座」を開催しました。

NPO法人「ワインクラスター北海道」代表理事でシニアソムリエの阿部眞久さんを講師に迎え、各産別から組合員30人が参加。

第一部では、今年4月現在、73にも増えた北海道のワイナリーや栽培種類も増えたブドウ品種の説明などがされました。講師の解説を聴きながら、白、オレンジ、赤と順番にテイスティングを始めると、会場内から「美味しい!」という感動の声が飛び交いました。

第二部では、オードブルとのマリアージュを楽しむつつ、各種道産ワインを飲み比べ。グループでお気に入りのワインの投票をしながら、交流を楽しみました。スペシャルな道産ブドウ



テイスティングに使用した道産ワイン

ジュースも3種用意し、こちらも好評でした。参加者からは、「道産ワインの魅力を知れた」「北海道のワインがこんなに美味しいとは思わなかった」「ワイナリーに関心をもった」などの感想をもらいました。



解説する阿部ソムリエ